

令和3年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、令和3年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価 項 目	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	おおむね満足	スクーリングは、先生と生徒が直接対面で授業を行う貴重な機会である。この機会を十分に生かし、それぞれの生徒に応じたカリキュラムを考えるなど、工夫した授業への改善が必要である。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況	おおむね満足	通信制学校は、様々な事情により全日制や定時制に行くことができない子どもたちを受け入れ、教育の場を設けることができる最後の砦であるということを十分に考慮し、悩める子どもたちに対してどう接していくか、今後の相生学院高等学校独自の指導手法を期待したい。
	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	おおむね満足	学則、校則及び学校要覧は、適宜見直しを図り、時代に即した内容にするとともに、教職員をはじめ、関係者への周知徹底が必要である。 学校が行う自己評価は、保護者、生徒、教職員にアンケートをとり、その結果を分析し、それを元に評価することで、運営の改善点などをさぐっていくものである。しっかりとアンケートをとり、多様な意見を反映させた評価が必要である。

評価項目	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	おおむね満足	<p>特別活動の実施内容について、様々な活動をしており、また相生市内で地域との交流を図る取り組みを前向きに検討している姿勢は評価できる。一方で地元との連携は、地域住民の高齢化に伴い交流の機会が少なくなっているため、小さな取り組みから関わりを広げていくことを期待する。</p> <p>今後の学校運営のためにも、生徒や保護者に対してアンケートを行い、意見を集約・分析し、しっかりと対応していく必要がある。なお、アンケートを行う際には、30%以上の回答率になるよう、改善、工夫をする必要がある。</p>
	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	おおむね満足	<p>地元でのシンポジウムの開催という新たな取り組みは評価できるが、開催時にはもっと積極的に地域に周知し、参加者を募ることで、相生学院高等学校の存在を知ってもらう機会となる。今後は積極的な情報発信を期待したい。また、設置による経済効果については、引き続き、地域活性化へ向けた学校の特性を活かした取り組みが求められる。</p>
	市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	<p>相生市との連携協力体制は、確立されていると思われる。</p>
総括・課題	<p>ここ数年、課題となっている一つに、キーワードとして「連携」という言葉がある。地域との連携、保護者との連携、いろんな連携があるが、地域との連携では、新たな取り組みの検討もみられ、少しずつではあるが、関わりを深めようとする意志は感じられる。引き続き積極的な地域との連携協力及び情報発信に務めていただきたい。</p> <p>また、前年度より指摘のあった事項に関して見直し及び改善されている点については評価できる。前年度より継続している改善点としては、生徒や保護者へのアンケートが不十分であることがあげられる。各方面からの意見収集を行い適切な学校運営に邁進していただきたい。</p>			

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。